

群馬県立渋川工業高等学校(全日制)学校評価一覧表(令和7年度版)(1/2)

羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1) 自分の学校生活に満足である生徒が、80%以上である。	・生徒に達成感を味あわせる教育を実施する。 ・生徒の個性や人間性を成長させ、将来を切り拓く力を養う指導をする。 ・アンケートを実施し、生徒・保護者の意見を集約して教育活動に反映する。	A	B	A	達成状況のまとめ ・教育活動全般を通して、ものづくりの楽しさを追求し、その成果を発表する機会を多く設定した。また、学校行事に対し、主体的に参加できるような工夫を行った。 ・基礎から先端技術まで幅広く教えることで、生徒の興味関心を効果的な学習につなげることができた。	・学習成果発表会の取り組み、発表の仕方に工夫している様子を見ることができた。
		2) 専門(工業)科目の学習を通して、確かな技能や知識の習得に満足している生徒が、80%以上である。	・到達度に達しない生徒については放課後に補習を実施し、到達の援助をする。 ・資格取得や各種検定への積極的な取り組みを促す。 ・協働的学習の効果的な展開を図る。	A	A	A	・課題研究は、多くの生徒が、計画・作業・まとめ・発表の各段階に主体的に取り組み、成果を得ることが出来た。 ・工業の専門性を活かした教育活動を推進する。 ・生徒が主体的に活動する場面の設定と教員の援助を工夫する。	・世の中に必要な力、仲間と協力する・意見が違う仲間との対応など胸を張って社会に行ける体験をしている。
	2 生徒の主体的な学びを引き出す教育活動を行っていますか。	3) 課題研究(課題設定、調査・研究、まとめ、発表等)に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が、80%以上である。	・課題研究については、課題設定に十分な時間を与える。課題に対してアドバイスをし、よく考えさせ研究可能なテーマを選択させる。また、各科で研究発表会を実施し、全校発表会につなげる。	A	A	A	・年間を通じて、生徒の興味関心や進路、習熟度の実態に応じたクラス編成・グループ編成を行う。 ・学習成果発表会の日程にあわせた取り組みとなってしまう、授業時間が不足し、研究を深めることが難しい。また、課題設定において、制約ができてしまうことも考えられる。	・どの生徒も礼儀正しくはきはきしている。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	4) 授業に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・授業の公開、研修、生徒アンケート等により、授業改善を進める。 ・授業内容に合わせ、協働的学習を推進する。	C	A	B	達成状況のまとめ ・生徒一人ひとりの主体的な学習が行われるよう、職員研修を実施し、授業改善に努めた。 ・分かるまで指導の徹底と、補習の充実を図り、様々な場面で学習に対する意識付けを強化した。	・入学する段階で、普通科目に対する苦手意識を持っている生徒が多いと思う。
	4 生徒は主体的に学び確かな学力を身に付けていますか。	5) 進路の実現に向けた学力の定着・向上を実感している生徒が、80%以上である。	・言語活動・協働的学習の充実を図る。 ・朝学習の充実を図る。 ・到達度に達しない生徒については試験前に学習会を実施して、わかるまで指導する。	C	B	B	次年度の課題 ・生徒の主体的な学びを目指す授業展開、指導方法の研修を計画的にする。 ・授業アンケートを実施し、その結果を受けた授業改善に取り組む。	・就職を希望する生徒、進学を希望する生徒、それぞれが自分の専門性を生かした取り組みで伸ばしていけたら良い。
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	6) いじめの防止や早期発見に向けて、生徒へのアンケートを3回以上実施している。	・生徒へのアンケートや校内巡視による生徒観察、生徒理解と情報のキャッチに気を配る。 ・いじめ発生の際には、速やかに適切に対応し、解消を図る。	A		A	達成状況のまとめ ・二者面談や三者面談、アンケートの実施を含め、担任が日常的に状況を観察し、早めに対応した指導を継続した。 ・日頃から学習支援や生活習慣の支援、学業継続意識を啓蒙するなど、改善に努めた。また、スクールカウンセラーとの連携を深めて対応した。	・交通事故防止に一層の努力をお願いしたい。
		7) 転退学する生徒が、在籍数の2%以下である。	・学年等との情報共有により組織的に指導する。 ・家庭との積極的な情報交換を行う。 ・教育相談と連携し、個々の生徒に対応した指導を行う。	B (1.5%)		B (1.5%)	・部活動の状況を全校集会や学校新聞等で事あるごとに紹介し、頑張る生徒の励みとなるよう、後押しした。 ・多くの生徒会行事において、積極的に取り組み、スムーズに運営することができた。	・生徒が安心して通える学校づくりに努めてもらいたい。
	6 充実した特別活動が展開されていますか。	8) 部活動に所属している生徒で、その活動に満足している生徒が、80%以上である。	・部活動が活発化するように予算配分する。 ・部活動を通じて人間的な成長を図る。	B	B	B	・毎月的身嗜み指導や日常の指導を継続することで、大部分の生徒は規則を理解し、実践している。	・渋工生に限らず、交通マナーがあまりよくない高校生を見かけることがある。
		9) 生徒会主催行事に満足している生徒が、80%以上である。	・生徒会行事全般で、生徒が主体的に取り組み、クラスの団結力を高めることのできるような企画・立案をする。	A	A	A	・出欠状況をまとめ、必要に応じて科や学年、スクールカウンセラーと連携して対応した。 ・教室等の清掃や、整理整頓については、積極的に取り組んでいる生徒が多い。 ・校内の危険箇所について生徒からもアンケートをとり、必要に応じて対応した。	
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	10) 学校の規則を理解し実践している生徒が、80%以上である。	・月1回程度の定期的な全体指導を実施する。 ・適宜、個別指導を実施するとともに、家庭連絡して、理解・協力を求める。 ・日頃より学年、担任、生徒指導部が連携し指導を図るとともに、集会等全体指導で判断力や倫理観を養えるようにする。	C	A	B		
		11) 欠席率は、在籍数の1. 5%以下である。	・学年等へ情報を提供して、担任や学年主任等の段階的・組織的な指導を実施する。 ・家庭連絡等を積極的に行う。 ・長欠者に対しては、教育相談係、スクールカウンセラーと連携した指導を行う。	B (1.5%)		B (1.5%)		

群馬県立渋川工業高等学校(全日制)学校評価一覧表(令和7年度版)(2/2)

羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	総合		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	12) 遅刻率は、在籍数の0. 6%以下である。	・学年等へ情報を提供して、担任や学年主任等の段階的・組織的な指導を実施する。 ・家庭連絡や面談を計画的に行う。 ・生徒指導部と連携した指導を行う。	B (0.5%)		B (0.5%)	次年度の課題 ・教育相談を充実させ、より相談しやすい体制づくりを目指す。 ・教育相談や学習支援の体制を学校全体で取り組めるように充実させていく。 ・規則については、職員全体が同じ基準で継続して指導できる体制を作っていく。 ・欠席や遅刻については、家庭や教育相談と連携し、今年度と同様に実施する。 ・設備の老朽化に関するものには、順次対応していく。	
	8 学習環境の整備が図られていますか。	13) 教室や実習室が整頓されていて、学習しやすい環境にあると感じている生徒が、80%以上である。	・放課後清掃の徹底を図る。 ・始・終業日の大掃除を充実させる。 ・全校ワックス清掃を実施する。	A	A	A		
	9 授業、実習、部活動等の活動において安全指導、安全管理を行う。	14) 授業、実習、部活動等で安心して活動できると感じている生徒が、100%である。	・授業、実習、部活動等で使用する道具・機材の安全な使用方法の徹底を図る。 ・生徒に対して安全確保に対する意識付けを日常的に行う。	A	B	A		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	15) 3年生で希望の進路を実現している生徒が、90%以上である。	・進学希望者に進学補習を、就職希望者に就職ガイダンスを実施する。	A		A	達成状況のまとめ ・まだ進路の決まらない生徒が数名いるが、ほぼ達成している。 ・学習活動、課外活動等の豊富な教育資源を、さらに進路実現へと意識付けすることができた。 次年度の課題 ・進路講話等を利用して、より強力に推進していく。 ・生徒の具体的な進路希望に合ったガイダンスや、情報提供に努める。	・進路実現に向けての取り組み意識は、学年によって違うのではないか。一括での評価ではなく、学年別で評価してもよいのではないか。
	11 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	16) 進路実現に向けて、積極的に取り組んでいる生徒が、80%以上である。	・学年ごとの課題に応じた進路ガイダンスを実施する。 ・社会人講師による進路講話・キャリア教育を推進する。 ・インターンシップの活用や職場見学を実施する。	B	A	B		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域に積極的に情報発信をしていますか。	17) 学校公開を、年4回以上実施し、参加している保護者が、前年より増加している。	・PTA総会時の授業参観(5月) ・中学生一日体験学習(8月) ・学校公開(9月)・学校説明会(11月) ・保護者との連絡を密にし学校教育に興味を持っていただく。	A		A	達成状況のまとめ ・学校公開を5月、中学生と保護者の1日体験学習を8月・9月・11月に実施し、学習成果発表会を1月に行った。 ・なるべく多くの情報をWEBページに掲載するようにした。学校行事等の案内を、メールでも配信した。 ・出前授業、小学生のプログラミング教室、街中イルミネーション、地域のイベント参加などを実施した。 ・地域やものづくりの指導者を講師にした取り組みを実施した。 ・進路講話等で進路について、保護者、生徒間で話し合うように促した。	・地域の行事に参加してもらえて、とても助かった。特に小中学生の評判が良かった。来年度以降もぜひ参加してほしい。
		18) 学校から発信している情報に関心を持っている保護者が、80%以上である。	・学校新聞を発行する。 ・メール配信やWEBページの更新等、新しい情報を随時更新し提供する。	A	A	A		
		19) 専門的技術を地域に生かす活動を、年5回以上行っている。	・小中学校への出前授業を実施する。 ・各種イベントへ参加する。	A		A		
	13 家庭、地域の教育力を活用していますか。	20) 保護者や地域の人を講師とした講演会等を、年3回以上実施している。	・専門学科講師授業(各科数回) ・先輩と語る会(3年生、6月)	A		A		
		21) 生徒の将来の志望について理解している保護者が、80%以上である。	・三者面談の中で進路に関する情報交換の場を設ける。 ・進路指導部資料や進路通信に、保護者が生徒の進路について理解できるような内容を取り入れる。	C	B	B		
Ⅵ 職業人育成に実効ある専門高校をめざした取り組みをしていますか。	14 生徒の職業意識を育成していますか。	22) 企業見学等の校外学習を、各学科3年間で2回以上実施している。	・各科及び学年を中心に企画する。	A		A	達成状況のまとめ ・進路希望の状況も考慮しながら、大学や専門学校、企業見学を実施した。 ・興味、関心を持てる実習内容を検討し、実施した。座学との連携や学年間のつながりを考え、内容を精選した。 ・資格取得に向けて補習を充実させ、個別指導にも力を入れた。	・社会とのつながりを様々な面で作っており、大変ありがたい。 ・いろんな資格に挑戦しており、よく頑張っている。
	15 工業に興味・関心を持てる教育を行っていますか。	23) 実習内容に満足している生徒が、80%以上である。	・自分たちの学んでいることが将来どのように役立つか理解させる。	A	B	A		
		24) 資格・検定合格に向けて、または各種コンテストへの参加、入賞を目指した取り組みを行っている生徒が80%以上である。	・補習や個別指導を実施する。 ・資格、検定合格が進路実現において有効な手段であることを説明する。	A	C	B		
Ⅶ 教育のデジタル化に努めていますか。	16 ICTを活用した指導を行っていますか。	25) ICTを活用した教材作成、または授業を行える教師が100%である。	・ICTを活用して紙またはデジタル教材を作成する。 ・ICTを活用して授業を進める。	C		C	達成状況のまとめ ・授業においてICT機器の活用を始めている。 次年度の課題 ・より効率良くICTを活用できるよう工夫する。 ・より多くの場面でICT機器の活用できるよう工夫する。	・他の学校と活用事例の情報交換を試みると良いのではないか。
	17 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	26)業務改善を意識してICTを活用している教師が50%以上である。	・デジタルデータの再活用と共有化により業務の省力化を図る。 ・協働ができるようにデジタルデータを整理する。	A		A		